

ひだまり

ご挨拶

早いもので、サニープレイスが開所してから五年の月日が流れました。振り返ってみると、本当にあつという間の五年間だったと感じます。開所当日一名の利用者さんと近くの公園へウォーキングに行ったのを昨日の事のように思い出しますが、今では十六名の方が通所され随分と賑やかになり、毎日皆さんと共に精力的に活動に取り組んでいます。

事業所の活動の軸となるのは陶芸活動で、陶器の小物（箸置きや楊枝立て等）の製作とバザー等での販売を行っています。五年間、製品のクオリティ向上に取り組んできた甲斐もあり、売り上げは増加してきており、取り扱っていただいている小売店様からも一定の評価を得られるようになりました。

陶芸活動の他には、機関紙サニープレスの制作、松阪市展や三重県障がい者芸術文化祭へ出展するアート作品の制作、体力作り

としての運動、外出活動などが、開所以来、私が最も大切にしているのは、毎日の活動を通して皆さんに沢山の経験をしてもらいたい、生きる喜びを感じてもらいたいという事です。

少し私の話をさせていただきますと、私はバイクに乗ることが好きです。夏には子供と海や川で遊んだり、色々な所へ出かけることが好きです。毎日を生きる上で常に未来に予定をもっていたいと思っています。毎日上手くいく事ばかりではなく苦しい事も沢山ありますが、そういう思いが私の原動力であり生きる喜びです。

ご家族の皆様が大切な我が子のために様々な取り組みをされている事は重々承知しておりますが、お仕事や家事との両立、ご家族の方々の高齢化や体力の低下など、問題を抱えられているケースも多くなっています。その分も私たち事業者は利用される皆さんの人生がより豊かなものになるように考え行動していかな

発行所 聖和福祉会 聖愛園

〒519-2211
三重県多気郡
多気町丹生4701
TEL 0598-49-3115
FAX 0598-49-3783

サニープレイス

〒515-0052
三重県松阪市
山室町2580
TEL 0598-30-5585
FAX 0598-30-5586

ければなりません。ここサニープレイスを皆さんに沢山の経験をさせていただける、生きる喜びを感じていただける場所にする事が私たちの責任であると思っています。

活動には一生懸命取り組む、遊ぶときは目一杯遊ぶ、常に新しい経験と楽しみが待っている、だから作業も頑張ろう。人生楽しい事ばかりではありませんが、沢山の経験と生きる喜びがあれば、皆さんの人生は一層豊かなものになっていくのではないかと私は思っています。

まだまだ至らない点ばかりで、利用者の皆様、ご家族の皆様にはご迷惑をおかけしている事も沢山あるかと思いますが、皆様に愛され信頼される事業所を目指して、毎日の仕事に精一杯取り組みたいと思います。

サニープレイス施設長

戸野 歩

お花見
写真館

今年もきれいな桜を

見に出かけました♪





寿司 パーティー



平成三十年度、三月十日に聖愛園の寿司パーティーを開催しました。
今年も時代さんに、お寿司を握りに来ていただきました。普段、お寿司を食べる機会が無い利用者さんの表情が印象的で、楽しんでもらえて良かったなと思いました。
食後は、ウインズに生演奏を披露していただきました。軽快なリズムのウインズの演奏で熱唱する利用者さん。
みんなが一日を通して、楽しい時間を過ごせたのかなと思います。
最後になりますが、寿司パーティーに参加していただいた保護者の皆さん、時代さん、ウインズの皆さん、ありがとうございました。

生活支援員 辻 賀津雄



ご家族とお食事を楽しまれ、皆さんとても楽しそうに食べていました！



新鮮なネタでお寿司を握って下さるお寿司屋・時代さん。利用者の皆さんも握りたてのお寿司を食べて笑顔が溢れていました。



いつも素敵な演奏で利用者や保護者の皆さんを楽しませて下さるバンド・ウインズさん。
今回もたくさんの曲を演奏して下さい、盛り上げて下さいました！



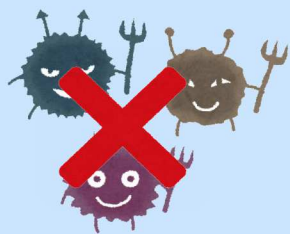
想
い

サービス管理責任者に就任してから、色々な研修に参加する機会が増え、多くのことを学ばせていただいています。その研修の中で必ず【入所者とその保護者の高齢化】が話題に挙げられます。聖愛園でも以前に比べ保護者会に出席される方の人数は減り、面会や年末年始の外泊もめっきり減っているのが実情です。利用者さんの中には「家族に会いたい」「家に帰りたい」と、思いを口にされる方もあります。諸事情から現実には難しいのですが、その気持ちに少しでも寄り添い、笑顔で一日を終えて頂けるようにと、日々利用者のみなさんと向き合っています。

私が以前、恩師から頂いた言葉のひとつに『努力した人が全て成功している訳ではない。しかし、目標を成し遂げた人は必ず努力している。』というものがあります。現在の自分に置き換えると『私の想いの全てが利用者・保護者・職員に届く訳ではない。しかし、想うことをやめてしまったら伝わらない。これから、皆さんの安全と幸せを願い、想うことを続けよう。』そんなことを考えながら、片道一時間の道のりを軽快に、大好きな音楽と共に車を走らせています。まだまだ道半ばで、皆様には心許なく、ご心配をお掛けしている事と存じます。今、私ができる精一杯の支援を続けて参る所存ですので、今後ともご理解とご協力をお願い致します。

サービス管理責任者 羽根 めぐみ

医務便り ~ 利用者を感染症から守るために ~



いつもきちんと、手洗い出来ていますか？しっかり手洗いしていないと、手には目に見えない細菌や、ウイルスがたくさん付いています。一番多い感染パターンは手を介した感染症と言われています。

入所施設では、風邪やインフルエンザ等による集団感染がみられる事があります。利用者さんを集団感染から守るために、私達支援者は感染予防対策を行っていく必要がある事は言うまでもありません。

聖愛園には、高齢や免疫力が低下している方、持病があり体力のない方など感染リスクの高い利用者さんが生活しています。そのため、いつでも集団感染が起こりうる状況にあります。そこで私達は、日頃から「菌を持ち込まない」「菌を持ち出さない」「菌を拡げない」事に留意して感染予防対策に取り組んでいます。

七月からは感染拡大防止対策として、全職員が手指消毒液を携帯して、必要なタイミングで適切に手指消毒を実施する事が出来るようになりました。この方法で、「一ケア一手洗い」「ケア前後の手洗い」を徹底しています。

これからも、利用者さんが心身共に健康に過ごして頂けるように、標準予防策を基本とした根拠に基づいた感染予防対策を継続していきたいと思っています。

看護師 木下 明美

聖愛園 夏祭り



まだまだ梅雨の明けきらないぐずついた天気が続く中ではありましたが、今年も恒例となっている聖愛園夏祭りを七月十四日に開催いたしました。昨年とは少し内容を変更して行い、ゆつたりとした時間の中で進行出来ました。

今年はボランティアの二組の方々に、大いに盛り上げて頂きました。まず初めに、松阪のうた宣伝隊による童謡を中心とした演奏により皆で合唱しました。また、恒例となった勢和いきいき保存会の皆さんによる盆踊りで、大変盛り上がりました。

そして、職員と利用者の共演による楽器演奏やカラオケの発表、かき氷や神輿などの祭らしい催しもありました。利用者の皆さんは、久々に会う保護者の皆さんとゆつくり話が出来たのではないかと思います。

最後にこの会を催すにあたり、ご支援くださったボランティアの方々、いつも美味しい食事を提供して下さるトモさん、保護者の皆さんどうもありがとうございました。

生活支援員 奥野 哲也



←利用者さんの発表もあり、大きな拍手が沸き起こっていました♪



あじさい祭り



生活支援員 高山 かおる

六月九日、「第二十三回大師の里・彦左衛門のあじさいまつり」に参加しました。聖愛園はお菓子すくい・ジュース、保護者会は無農薬米、サニープレイスは箸置き・マグネットなど利用者の焼き物作品を販売しました。なかでもお菓子すくいは、子どもたち大好評でした。駄菓子をスコップですくって取るゲームです。何度も遊びにきてくれる子どもさんもいて、上手にお菓子をすくえるようになっていました。お昼頃にはたくさんあったお菓子も完売！たくさん取るぞ！と真剣な顔・たくさんすくえて嬉しい顔・あまり取れなくてちよっと悔しい顔などなど・・・今年の聖愛園のブースは、いろんな顔で溢れていました。聖愛園と地域とのふれあいの場に参加することができ、嬉しく思います。これからも、利用者さんが地域社会と楽しく交流できるような活動を心がけていきたいと思えます。

夏の水分不足には 要注意！

栄養だより

経口補水液の 作り方

- ・水 1 L
- ・砂糖 40 g
- ・塩 3 g

材料をよく混ぜて
出来上がり

ご自宅にある調味料
で簡単に出来ます！

栄養士 野田 未有



水分補給のポイント

- ・ 水分を一気に摂取しても体内に上手く吸収されないため、こまめな水分補給を行きましょう。
- ・ 高齢になると体内水分量の減少を自覚しにくいため「喉が渴いた」と感じる前に水分補給を行しましょう。

脱水症状のサイン

- ・ 喉が渴く、尿の色が濃くなる、手足の冷え等。隠れ脱水に注意して積極的に水分をしっかりと摂取していきましょう。

体内の水分量は新生児で八〇%、成人で六〇%、高齢者で五〇%まで減少していきます。水分は飲み物だけでなく、食事からも摂取出来ませんが、尿や便の排泄、呼吸や皮膚からの蒸発で水分が体外へ排出されていきます。

ひきこもり相談支援

私は、平成三十一年四月一日から聖和福祉会相談センターで相談支援員をしています。聖愛園とサニープレイスに通われている方の計画相談を担当させて頂いています。相談員としての経験も浅く難しさを日々感じています。

聖和福祉会では、平成二十九年一月から社会福祉法人の地域における公益的な取組としてひきこもりの状態で悩む本人、ご家族等の相談を実施しています。ひきこもりとは、様々な要因の結果として社会参加を回避し原則的には六ヶ月以上にわたって家庭にとどまり続けている状態とされます。いくつかの要因が重なった結果「ストレスから身を守るため外からの刺激を自ら遮断している状態」であると言えます。

現在、相談される方はわずかですが希望により訪問し話を伺っています。長期間ひきこもっている状態の家庭では、ご本人はもとよりご家族も先の見えない不安と焦りで疲れきって見えるため簡単に解決できる問題ではありませんが、直接お会いして話が出来る場を持つ事でご本人の気持ちに少しでも和らいでいくのではと感じています。焦らず一緒に考えていくという姿勢でまずは、ご家族としっかり信頼関係を構築しご本人の話を親身に傾聴して共感する気持ちでご本人の望む方向に進んでいけるよう他機関へ繋げるための窓口になっていきたいです。

ひきこもりでお困りのことがありますたら是非、一度ご連絡をください。お待ちしております。

相談支援専門員 仲野 美智



聖愛園ではひきこもりの方を中心とした支援のご相談を受け付けています。お悩みの方、ご家族の皆様のご連絡をお待ちしております。
ひきこもり相談支援(担当：仲野)

TEL : 0598-49-3115

受付時間：平日8：00～17：00

※担当者不在の場合は後日折返しご連絡をさせていただきますので、お名前とお電話番号をお伺いさせていただきます。

ご厚情深く御礼申し上げます

自平成三十一年一月十七日
至令和元年七月二十一日

ご芳志ご芳名（敬称省略）

保護者会・大谷勲・武田スミヨ
世古高滋

（他にも匿名で頂戴しております）

物品寄付ご芳名（敬称省略）

三浦てるは・南条訓

神廣かよ・高橋真弓・鈴木真知子

東谷順子・吉田雅之

岩城央生・武田スミヨ・山岡隆

風の丘・丹生大師

西組・中田会計・マルエイ

とみやま外科内科医院

楠井法律事務所

アンサーロックサービス

（他にも匿名で品物を頂戴しております）

機関紙ひだまり第五十号を発行させていただきました。ご一読いただければ幸いです。宜しければ聖愛園とサニープレイスのブログもご覧下さい。

<http://seiaien.exblog.jp/>
<http://seiwafukushikai.com/blog/>

編集 聖愛園

田所 有須